

平成29年二級建築士試験

「学科の試験」の合格基準点等について

1. 正答枝：下表のとおり。

問題 No. 科目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
学科Ⅰ	3	5	5	2	1	4	1	1	2	5	1	4	1	1	4	3	4	2	2	5	3	2	5	3	4
学科Ⅱ	2	2	5	4	3	4	3	1	2	3	3	5	5	1	2	5	4	3	4	4	5	2	1	4	3
学科Ⅲ	4	4	3	5	3	4	3	3	2	4	4	1	2	5	4	3	1	2	1	1	1	5	2	2	5
学科Ⅳ	3・5 (注)	4	5	1	4	2	4	2	4	3	5	4	2	3	1	2	1	5	5	4	5	3	1	5	2

(注) 学科ⅣのNo. 1については、二つの正答枝があったので、別添のとおり、枝3及び枝5を正答枝としています。

2. 配点：それぞれの科目の正答数をその科目の得点とし、各科目の得点の合計を総得点とする。
(各問題1点、各科目25点満点、合計100点満点)

3. 合格基準点：各科目及び総得点の基準点は下表のとおり。

	学科Ⅰ (建築計画)	学科Ⅱ (建築法規)	学科Ⅲ (建築構造)	学科Ⅳ (建築施工)	総得点
基準点	13	13	13	13	60

*各科目及び総得点の基準点全てに達している者を合格とする。

4. その他

試験問題は、当センターのホームページに掲載します。

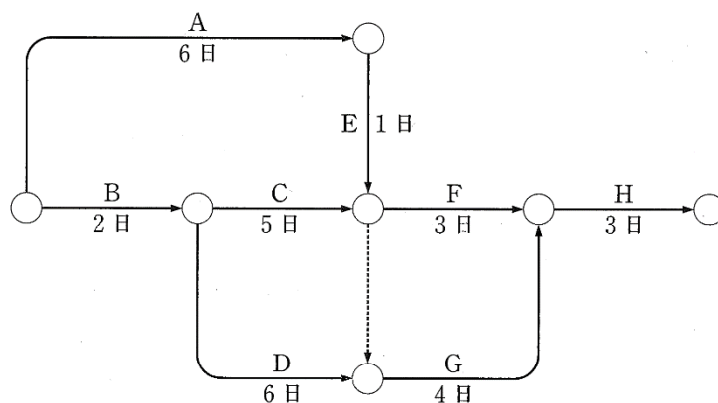
問合わせ先

公益財団法人 建築技術教育普及センター	試験部試験第二課「二級建築士試験」担当 TEL：03-6261-3310 (代表)
---------------------	--

下記の学科Ⅳの No. 1 については、枝 3 が明らかな誤りになっていますが、枝 5 においても、F 作業のフリーフロートは、定義上、2 日であることから、枝 3 とともに枝 5 も正答枝とする措置を講じています。

記

〔No. 1〕 下に示すネットワーク工程表に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。



(注) ↓ は、ダミーを示す。

1. この工事全体は、最短 15 日で終了する。
2. A 作業の所要日数を 1 日短縮しても、この工事全体の作業日数は変わらない。
3. D 作業の所要日数を 3 日短縮すると、この工事全体の作業日数は、2 日の短縮となる。
4. E 作業が終了しなければ、G 作業は開始できない。
5. F 作業のフリーフロート (後続作業に影響せず、その作業で自由に使える余裕時間) は、1 日である。